

仕事と就労確保、建設国保の補助を

対都 交渉

財務当局に要求する

国保組合の安定運営に全力

福保局



福祉保健局との交渉

【本部・末浪明子記】福祉保健局国保課への交渉は、代表26人が参加しました。はじめに、月居都連副委員長から上野国保課長に要請書を手渡し、その後、田村都連社保対部長が要請趣旨を説明しました。概要は、①建設国保に対する都費補助金の医療費増高を含む現行水準確保、②特定健診・特定保健指導に対する都費補助の拡充と、建設国保が実施するがん対策事業への財政支援の拡充、③建設国保組合の育成・強化です。

上野国保課長は、都国保課の使命は区市町村国保への支援と同様に国保組合を支援することとし、「命の綱」である国保組合の安定運営実現へ向け全力で取り組む、2023年度予算でも組合員一人当たりの医療費増高を含め、実質的に維持されるよう財政当局に予算要求していく、特定健診事業への予算についても区市町村国保と同等の補助を確保していくと述べました。がん対策事業への財政支援については、都の国保事業と位置づけを行なうことは課題が多く、国の考え方を踏まえ全体的に望ましい形を検討していくと回答しました。

がん対策事業に支援を

3つの国保組合からは、直近の医療費が2021年度から引き続きコロナ前の水準を超えている状況を報告。来年度の都費補助金は2021年

都整局 工務店アンケート示し 支援で意見交換

【本部・加藤慎吾記】都市整備局・住宅政策本部交渉は、栗橋都連工事対策部長ら8人で行ないました。(東京都側は20人)

今回の要望項目のなかで「行動指針」、発注者として取り得る施策の検討を要請しました(都では、業種を問わず、事業所向けのセミナー開催、相談対応、特設ウェブサイトの開設、啓発用リーフレットの作成などは行なっているとのこと)。

さらに、未就学児に係る保険料軽減措置について、区市町村国保には都から軽減額の4分の1の補助がされている。仲間は、ケガをして建設国保の給付があり大変助かったとの報告がされ、最後に都への引き続きの支援をお願いして要請を終了しました。

産労局 供給不足と価格高騰 踏み込んだ施策を求める

【本部・村松加代子記】産業労働局、財務局、福祉保健局、都市整備局交渉は、御崎都連賃対部長、山本都連賃対部長を団長に9人の交渉団で行ないました。



産業労働局との交渉

は、1. 建退共の適正履行、2. 建設現場における新型コロナウイルス感染症防止対策、3. 契約適正化の調査、4. 建設業の働き方改革、

騰を反映した請負代金の契約変更などの施策を求めたところ、「契約約款第24条でスライド条項を定めており、物価変動等への対応をはかっている」と回答。組合から、とある都

5. ハラスメント対策で、今回、原油・原材料供給不足と価格高騰にあたり、コスト高騰を反映した請負代金の契約変更などの施策を求めたところ、「契約約款第24条でスライド条項を定めており、物価変動等への対応をはかっている」と回答。組合から、とある都

賃金の下請実態調査行なえ

契約適正化の調査について、「2次、3次下請など民間の契約に関する調査や対策への回答は困難」と前回と同じ回答。組合から、とある都

特性に合わせた配慮についての要請項目は、具体的基準を技術討会で議論していくと回答を受けました。

耐震化で 3〜4割減

災害対策では、10年ぶりに見直される東京都被害想定の見直しについての回答として、前回の東京湾北部地震や多摩直下地震から都心南部直下地震、多摩東部直下地震を選定、10年前の被害想定と比較して建物被害や人的被害が3割から4割程度被害が減少しており、この間の、木密対策や耐震化などの結果だと明らかにされました。被害想定

の見直しなどでは関係団体むけ周知として学習会などを実施することを求めました。アセスメント調査・撤去費用では今年度から自治体に都から補助支援が始まっていてII区が現在補助を行なっているとの回答がありました。各自自治体への周知も必要だと確認されました。建設業許可の電子化については、入力エラーなどの不備について、申請後の手直しではなく、入力中にかかるよう利便性の向上を検討しているとのこと。また、2023年1月から完全に電子化ではなく、同時に従来通りの申請についても受け付けるとの回答がありました。



5年ぶりに第2庁舎前で集会を開催

ます。コロナ禍で仕事が減りましたが、少しずつ増えてはいます。しかし、見積もりの段階で流れることが多いです。設備関係の仕切り価格が高く、また納期も数カ月は当たり前、未定の場合もあります。ここ3〜4カ月

膝を手術、土建た 国保で助かった

【西多摩・配管・功刀誠さん

工事をしていました。とにかく物が入ってこない、話になりません。給湯器などの設備品は半導体不足の影響もあり、納期が見えないのでお客さんに迷惑をかけている状態。電工をしている仲間も材料が入ってこないの困っています。

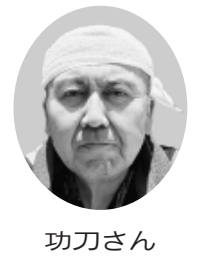
コロナ感染が仕事の減少につながっています。土建国保は建設職人の「命の綱」なので維持してほしいですね。



勝間田さん

納期数カ月後 が当たり前に

【目黒・大工・勝間田康之さん談】地元で大工をしてい



功刀さん

土建国保には大変助けられました。医療費の負担が大きくなり、共済の傷病見舞金の申請と合わせて何とか生活がなりました。

集会に参加した仲間

インボイス導入は絶対にダメです。我々建設労働者には賃金アップが先決です。